

知事コメント

- 1 6月22日木曜日に保健医療部長からも報告しましたが、本県における6月12日から18日までの新型コロナウイルス感染症の感染者数は、定点当たり28.74人で、全数把握に換算すると1日当たり1,000人を上回るなど、感染が急速に拡大しています。
- 2 感染者数は全ての年齢階級で大幅に増加しており、特に10歳から14歳までが対前週比で約2倍になり、学校閉鎖や学年閉鎖も散見されるなど、児童、生徒の間での感染拡大も顕著となっています。
- 3 入院者数も500人を超え、県全体のコロナ病床の使用率は、6月18日時点で57.8%となり、厳しさを増しつつあります。
- 4 過去2年間の感染状況の推移をみますと、ゴールデンウィーク後に感染者数が増加した後、6月に一旦減少し、夏場に再度感染が拡大しピークを迎えるという傾向がありましたが、今回は5月8日の5類移行後、6月においても感染者数の減少がみられず急速に増加を続けております。このまま夏場に向けて感染が拡大し続けた場合、昨年年第7波を超えることも想定しなければならず、インフルエンザであれば警報級に匹敵する状況です。
- 5 新型コロナワクチンについて、重症化を予防する効果は約6か月程度保たれているとのことですが、感染予防や発症予防効果は、時間の経過とともに徐々に低下する可能性があります。ウィルスが過去の感染やワクチン接種で得た免疫から逃れる性質は、現在県内で流行中のXBB系統株は強く、再感染しやすくなっていますので、令和5年春開始接種の対象者、特に高齢者や基礎疾患のある方については、早期の追加接種をご検討ください。
- 6 感染拡大により、救急医療にも大きな負荷がかかっています。6月20日時点で、中部、南部地域において7医療機関が救急診療制限を、3医療機関で一般診療が制限される状況となっています。八重山地域においても、感染者数の増加により県立八重山病院が面会制限を行うなど、県内全域で負荷が高まっています。なお、八重山地域の医療フェーズについては、本日より4から5へ引き上げることとしましたので、併せてお知らせします。

- 7 消防の現場からは、救急搬送の受入れ先が見つからず、搬送に90分以上の時間を要するケースなど、搬送困難事例も発生していると聞いております。
- このまま感染の拡大が続くと、コロナ重症の入院患者のみならず、心筋梗塞や脳卒中など救急治療の必要な方や交通事故などの外傷の方の治療も難しくなり、救えるはずの命を救うことができなくなる事態が現実となるおそれがあります。
- 8 一方で、コロナの5類移行により、新型インフルエンザ感染症等特別措置法に基づくコロナ対策本部が廃止となり、新規感染者数も全数把握から週1回の定点把握となるなど、感染状況や医療、介護現場の現状の把握が困難となっている状況があります。このため、沖縄県では、足下の医療のひっ迫状況や地域医療の課題を医療・介護現場から速やかに情報収集し、施策等に反映するためのタスクフォースを設置いたしました。
- 9 タスクフォースで得られた入院医療のひっ迫の現状、課題への対応のため、本日6月26日より、「新型コロナ感染者ケアステーション」を稼働することとしました。ケアステーションでは、軽症ではあるものの酸素投与や点滴などの医療処置が必要な高齢者等の受入れを行うことにより、救急医療機関がより重症の患者に対応可能な体制を維持することを目的としております。
- 10 また、6月28日に関係病院長会議を開催し、医療機関相互の役割分担やコロナ患者受入等の更なる協力をお願いしたいと考えております。
- 11 県民の皆さまにおかれては、感染リスクが高い状況を正しく理解していただき、医療ひっ迫を防ぐため、あらためて協力をお願いをさせていただきます。
- 12 (1点目)発熱等の体調不良時は外出を控えてください。発症後一定期間は周りの方へ感染を広げるリスクがあります。発熱や喉の痛みなどの風邪症状がある場合は外出を控え、特に重症化リスクの高い高齢者などとの接触は控えていただくようお願いいたします。
- 13 (2点目)手洗いや換気などの基本的な感染対策の継続をお願いします。
- 14 (3点目)マスク着用が推奨される場面でのマスクの着用についてご協力をお願いします。特に、現在、医療機関は大変混雑しています。医療機関内での感染を防ぐため、医療機関を訪れる際はマスク着用を含め医療機関が求める感染対策に従うようお願いいたします。なお、事業者や店舗から求められた場合は、感染対策のご協力をお願いします。

- 15 (4点目)現在、子どもの感染が増え、県立南部医療センター・こども医療センターをはじめとする小児の救急病院に大変多くの患者が殺到し負担が高まっています。軽症の場合や、検査、診断書発行を目的とした救急病院の受診はくれぐれも控えてくださるようお願いします。
- 16 発熱コールセンターは24時間対応していますので受診を迷う場合や療養に不安がある場合はご相談ください。小さなお子様をお持ちの親御さんにおかれては、小児救急電話相談#8000へご相談ください。
- 17 (5点目)軽症の場合は救急受診はお控えいただき、ご自宅での療養にご協力お願いします。急な発熱などに備え、あらかじめ、ご家庭で日持ちする食料や解熱剤などの医薬品、抗原検査キットのご準備をお勧めします。
- 18 以上について、どうぞ皆さまのご協力をお願いいたします。県民の皆さまお一人お一人が、感染を拡げないように配慮し、重症化リスクの高い方を感染から守ることが、感染拡大の抑制をはじめ、救急医療を守り、県民の皆さまの命を守ることに繋がります。
- 19 5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、様々な行動制限が緩和され、今年は4年ぶりに慰霊の日もコロナ禍前と同様に、多くの皆さまに参列いただき開催することができました。街を見ましても、多くの観光客の皆さまで賑わいをみせ、止まっていた日常を取り戻しつつあります。
- 20 一方で、医療、介護の現場では、これまでと変わらず、マスクや手袋、ゴーグルなどの防護服に身を包み、暑い中、感染患者の治療や施設入所者を守るため、献身的に取り組んでいただいています。
- 21 新型コロナの強力な感染力や高齢者、妊婦、基礎疾患をお持ちの方が重症化するリスクは変わっていません。
- 県民の皆さまにおかれましては、今、この時も、医療や介護の現場で、県民の命を守るため奮闘して下さっている方がいることに思いをよせていただき、感染対策の継続及び救急医療提供体制の維持にご理解、ご協力いただけますようお願い申し上げます。